



海外生活 レポート 50



小池 ひろみさん

オランダ王国のアムステルフェーン(アムステルダム近郊)に2022年3月まで在住。現在、川崎市宮前区在住。

皆さんが「オランダ」と聞いて思い浮かぶのは風車やチューリップでしょうか。

オランダと日本は歴史にも関わりが深く、「コーヒー」「ビール」「コップ」「ランドセル」「ゴム」等、オランダ語に由来する言葉は日本人の現代の生活にも数多く残っています。

世界は神が作ったが オランダはオランダ人が作った

オランダの英語名は「the Netherlands」(「低い土地の国」の意味)で、それは、国土の4分の1が海拔0m以下という地形に由来します。

そして、風車が立ち並ぶオランダ独特の風景は、干拓により国土を広げてきた歴史が関係します。堤防を作って海水を堰き止め、風車の動力で湿地の水を汲み出してきたのです。

このように「水」と密接な関係にあるオランダは、各地に運河が張り巡らされています。例えば、北ヨーロッパの貿易の中心として栄えた首都アムステルダム



アムステルダム 運河沿いのカナルハウスの風景

他の欧州諸国同様、新型コロナウイルスの感染者数がピーク時は厳しいロックダウン(都市封鎖)が実施されました。レストランやカフェ、美容院など、ほとんどの店が営業停止となる中で、花は生活必需品として扱われ、スーパーや薬局と並んで花屋の営業が許可されていたのはオランダならではのこともかもしれません。

幸福度の高いオランダ

ユニセフによる「子どもの幸福度調査」においてオランダは第1位(2020年)となっています。このように世界一と言われるオランダの教育は、子どもが自立した人間となり、自分らしい人生を送れることを大事にします。それはオランダの社会そのものと感じました。

例えば、オランダは共働きが基本ながらも、そのスタイルは日本とは少し異なります。夫婦がお互い仕事量を少し抑えて2人で1.5人分くらい働いて、残りの時間は子育てや家庭のために使うという考え方です。

子どもの送迎は父親・母親が半々でおこない、送迎時に保護者同士が男女問わず楽しそうに談笑する姿も日常の光景です。

人との触れ合いや家族との時間、日々の暮らしを大切にするオランダの精神は、今後も大切にしていきたいと思っています。

子どもの幸福度ランキング評価の内訳

総合順位	国名	精神的幸福度(注2)	身体健康(注3)	スキル(注4)
1	オランダ	1	9	3
2	デンマーク	5	4	7
3	ルウェー	11	8	1
4	スイス	13	3	12
5	フィンランド	12	6	9
6	スペイン	3	23	4
7	フランス	7	18	5
8	ベルギー	17	7	8
9	スロベニア	23	11	2
10	スウェーデン	22	5	14
...
20	日本	37	1	27

2020年「世界の子どもの幸福度ランキング評価」より抜粋
(注2)生活満足度が高い15歳の割合。15~19歳の自殺率。
(注3)5~14歳の死亡率。5~19歳の過体重・肥満の割合。
(注4)数学、読解力で基礎的習熟度に達している15歳の割合。社会的スキルを身につけている15歳の割合。

幸福度の高い「住」の国 オランダ



は、密集した運河(カナル)とその両岸に細長く建てられたカナルハウス(注1)の風景がとても美しい街です。

「低い土地の国」オランダの最高標高はたった300mで、そのフラットな地形から、自転車が有効な移動手段となり、初めて来た人は往来する自転車の多さに圧倒されるでしょう。自転車は老若男女を問わず、人々に愛されているオランダを象徴する乗り物です。

(注1)運河沿いに建てられた、間口は狭く、奥に長い家



アムステルダムの定番風景 運河と自転車

花は生活必需品

「衣食住」の中でも特に「住」を大切にするオランダ人。どの家庭でもこだわりを感じるインテリアで彩られ、気候の良い季節には、綺麗に整えられた庭で本を読んだり家族や友人との食事を楽しみます。



運河でボートを楽しむ人々

INFORMATION

オランダ王国

面積 41,864km²
人口 1,755万人
首都 アムステルダム
言語 オランダ語

(コーディネート: 相沢明子編集ボランティア, 編集: 川崎市国際交流協会 加藤恵美)